



正月の行事といえば「七草祝い」。満6歳(数えて7歳)の子が1月7日に晴れ着に着替え、神社で祈願を行った後に親戚や近所の家庭を7軒回り、手に持った碗(わん)でその家庭の七草粥(がゆ)を食べる、という行事です。実はこの七草祝い、南九州地方だけに見られる独特の行事。全国的に知られる「七草」とは7種の野草や野菜が入った粥を1月7日の朝に食べる風習を指しますが、市内では独自に発展した七草祝いが各地で行われ、現在も受け継がれています。

輝北地区では、コロナ禍で開催できないうちもありましたが、例年「合同七草祝い」を開催しており、地区の子どもたちを集めて健康を祈願しています。また、串良や高隈など一部の地域では七草粥ではなく人参や牛蒡(ごぼう)など7種類の具材が入った「七日雑炊(なんじつかい)」を食べるなど、地域に応じて特色を持った行事となっています。



▲令和5年1月7日に輝北町で開催された「合同七草祝い」の様子。3年ぶりの開催で図書カードや記念品などがプレゼントされました。

現在は、七草祝いを行う家庭が昔と比べると少なくなりましたが、祖父母を含めた親戚や特別仲の良い家族同士の範囲で楽しんだり、七五三と併せた形で七草祝いを行ったりする家庭もあるようです。

正月行事としての七草祝いは、子どもたちにとっては一生に一度の行事。子どもたちの健やかな成長を地域と家族で祈る「七草祝い」を、伝統行事としてこれからも大切にしていきたいですね。

### ！七草の種類、全て言えますか？

七草とはセリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)を指し、それぞれ縁起の良い意味が込められています。また、七草粥は年末年始で疲れた胃を休める意味もあります。



お手数ですが  
63円切手を  
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや

KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

歳 男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

クイズの答え

要・不要



POST CARD

皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合があります。

〒893-8501  
鹿屋市共栄町 20-1  
政策推進課  
「読者のひろば」係  
☎0994-31-1123